

森林環境基金事業の実績と 今後の展望について

福島県森林計画課
江村 健

発表の概要

- 森林環境税の概要
- 第1期対策 (H18～H22) の実績
- 第2期対策 (H23～H27) の概要
- 今後の展望

森林環境税の概要

森林環境税の概要

- 森林の整備を主な目的とする、各県の独自課税制度
- 平成15年度に高知県が初めて導入
- 全国では33県(平成24年度)が導入
- 福島県は平成18年度から導入
- ほとんどの県は5年間の時限措置
- 平成23年度までに23県が第1期を終了
- 23県全てが期間を延長

福島県における森林環境税

- 福島県森林環境税条例(平成17年3月25日公布)

第1条 県は、(中略)森林環境の保全及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成に関する施策に要する経費の財源を確保するため、(中略)森林環境税として課する。

個人 <small>(県内に住所、家屋敷等を有する方)</small> 税率:年額 1,000円	法人 <small>(県内に事務所等を有する法人)</small> 税率:年額 法人県民税均等割額の10%相当額
--	--

↓

「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」
の経費として充当

森林環境税を財源とした取組みの概要

森林環境の保全

- 森林環境の適正な保全
- 森林資源の活用による低炭素社会づくり
- 市町村が行う森林づくり等の推進

森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成

- 県民参画の推進
- ふくしまの森林文化継承
- 森林環境の調査
- 森林環境基金の運営

第1期対策(H18~H22)の実績





第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林環境の適正な保全

水源区域の森林整備
 手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源区域の森林について、県営事業及び補助事業により間伐等の森林整備を実施
 整備目標 9,000ha 整備実績 9,232ha

森林環境の適正な管理
 地図を活用した森林情報を広く発信するため、森林資源情報システム(森林GIS)の開発と運用

整備後の森林
ふくしま森まっぷの画面

第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林資源の利用促進

間伐材の搬出支援
 間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路等路網の整備と原木市場等への間伐材の運搬を支援
 搬出した間伐材 116,777m³ 作業路の整備延長 227,188m






間伐材運搬状況
作業路整備後の様子

第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林資源の利用促進

間伐材の利用促進
 県有施設の木造・木質化、木材製品の利用展示を行う「ほっとスペース」の創出、ベレットストーブ導入の支援など

低炭素社会づくりの推進
 二酸化炭素排出削減量に対するJ-VER制度活用への検討、県産材による住宅の普及啓発活動、県産材利用住宅に対する建設費の補助など

「ほっとスペース」の創出
県産材を使用した住宅の建設



第1期対策(H18~H22)の実績

- 県民参画の推進

森林環境学習の推進
 森林環境セミナーの開催や、森林環境学習に必要なフィールドの整備など

森林ボランティア活動の支援
 森林ボランティアに関する情報収集・提供、森林ボランティアサポートセンターの設置、企業の森林づくりへの参加の推進など

もりの案内人等指導者の養成
 もりの案内人や森林整備ボランティア団体のリーダー養成のための研修会など

森林環境セミナー
森林ボランティア団体活動支援

第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林文化の復興
 - ふくしまの森林文化の復興
県内に受け継がれてきた森林文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、森林文化フォーラムを開催するとともに、森林環境税の取り組み全体のシンボリック事業として「ふくしま森林文化企画展」を開催




森林文化フォーラム





森林文化企画展

第1期対策(H18~H22)の実績

- 市町村が行う森林づくりの推進
 - 森林環境交付金
市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付するもの。
 - 森林環境基本枠
全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む
 - ・ 県民参画の推進
森林に対する住民の関心を高めるための観察会、研修会など
 - ・ 森林の適正管理推進
森林整備計画策定にかかる委員会、民有林の現況調査など
 - ・ 森林環境学習の推進
小中学校の児童生徒を対象とした、自然観察、林業体験学習など










第1期対策(H18~H22)の実績

- 市町村が行う森林づくりの推進
 - 森林環境交付金
 - 地域提案重点枠
市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む計408件の取組みを実施
 - ・ 森林整備の推進
森林環境学習フィールドの整備、野生動物との共生森林の整備など
 - ・ 県産間伐材の利活用促進
県産間伐材を利活用した公共施設の内装木質化など
 - ・ 木質バイオマスの利活用推進
木質バイオマス利活用推進のためペレットストーブの導入の推進









第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林環境の調査研究
 - 森林整備効果の実証
森林整備事業モデル地域における水環境の変化等の調査、木質バイオマスの活用策の検討など
- 森林環境基金の運営
 - 森林環境税関連施策のPR
森林環境税に対する県民の理解を深めるため、パンフレットの配布やホームページ等による広報、水源地域の森林整備交流会などを実施



イベントにおけるPR



水源地域の森林整備交流会

第1期対策(H18~H22)の実績

- 森林環境基金の運営
 - 森林環境基金事業に対する県民の声を聞く
森林環境税やこれを活用した取組みについて県民の声を聞き、事業に反映するため、タウンミーティングや県民アンケートを実施
 - 森林の未来を考える懇談会
基金の適正管理、透明性、公平性を確保した森林環境基金事業の運営を行うため、有識者等からなる第三者機関を設置



タウンミーティング



森林の未来を考える懇談会

第2期対策(H23~H27)の概要

震災後の森林を取り巻く状況
 一方で

- **平成23年度の間伐面積 対前年比52%**
 森林の管理がなされず、公益的機能が低下する懸念
- **「県民の森」利用者数 対前年比16%**
 県民の野外活動や森林づくり活動が影響を受け
 森林に対する意識が変化し、関わりが途切れてしまう危機

**森林環境税の目的である
 「森林環境の保全」
 「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」
 は、より必要性和重要性を増している**

震災後の森林を取り巻く状況

- **国を中心として、復旧・復興関連の
 様々な事業、取り組みが数多く提案・実施**
 福島復興再生特別措置法の閣議決定(7/13)
 平成23年度:14兆円半ば、平成24年度:3,4兆円
 の復興関係予算

**復旧・復興に向けた様々な取組みと、
 森林環境税を用いた取組みの
 役割分担を考慮**

震災後の森林を取り巻く状況

- **平成23年度森林の未来を考える懇談会**
 「復旧・復興に対しても、一定の支援を行うべき」

**森林環境税で
 これまでに行ってきた取組みの
 延長線上にある施策への対応**

今後の森林環境基金事業の展望

- **その必要性和重要性を増している
 条例の目的を達成するため、
 引き続き森林環境基金事業
 に取り組む**

- 第2期対策の考え方に沿って平成24年度予算を編成
- 「森林環境の保全」と
 「森林を全ての県民で守り育てる意識の醸成」
 をすすめ
 「豊かな森林文化のくに・ふくしまの創造」

今後の森林環境基金事業の展望

- **復旧・復興に対応するため
 従来の取組みの重点・選別化と
 延長線上にある課題への対応**

- 「森林環境の保全」「県民意識の醸成」に
 「復旧・復興支援」という外すことのできない視点
- 平成24年度6月補正
 木造応急仮設住宅再利用促進事業
- さらに新たな課題への対応を検討していく

御清聴ありがとうございました

